11月 新着図書 No.1

未だ本能寺にあり

著者名：　今村翔吾
出版社：　幻冬舎

天正十年、本能寺の変が勃発。天下の主を失った日ノ本は混沌に陥った。そんな中、羽柴家家臣・駒井八右衛門は、秀吉からある密命を授かる。上様を探せ―。逆賊・明智光秀を討った秀吉は、今や信長の後継と目されていた。だが、信長の遺骸は見つからずにいる。もし他者が先んじて遺骸を探し出し弔えば、その座が奪われかねない。まして信長が生きているとなれば、秀吉が描き始めた天下への絵図も霧散することになる。一度見聞きした物事は忘れない異能を武器に、八右衛門は消えた天下人の行方を追う。織田方、明智方、そして影の目撃者…。関係者たちが語る「あの日」の真実とは？全ての答えが明かされる時、歴史は動き出す。

春までのセンセイ

著者名：　早見和真
出版社：　双葉社

東京都杉並区にある私立稜花女学院中学校。新年度に発表された３年Ｅ組の担任は、加賀美秀彦という中年の国語教師だった。最初は冴えないと思っていたけれど、先生の言葉はなぜだか心に響いてくる。それなのに夏休み直前、先生は病気で学校を辞めるというウワサが流れて…。クラス全員がバトンをつなぐ、一生に残る一年間の物語。

その犬をください

著者名：　逢坂冬馬
出版社：　KADOKAWA

明治初期の東京府。御雇外国人として開成学校の教師に着任した英国人のジョージは、自分を見るや吠えかかる日本の野良犬たちに手を焼いていたが…（「未開の咆哮」）。時代を超えて繋がる、近代日本と戦争を巡る人と犬の物語。

“誰でもできる仕事”をしていた私が辞めたら、会社が止まった

著者名：　霧原咲月
出版社：　ＫＡＤＯＫＡＷＡ

人柄が窺える丁寧な引き継ぎ資料を残し、社内で誰にも評価されなかった三倉紗和が会社を去る。翌日から、備品の発注、細かな経費チェック、見えない根回しなど、彼女が独りで回していた「当たり前」が崩壊し、会社はパニックに――。
AI導入で切り捨てられた受発注担当者。深夜のトラブルを一人で解決してきた情シスエンジニア。社員を温かく見守っていた食堂のおばちゃん……。様々な立場で『名もなき仕事』を抱えた人たちの、孤独と苦悩、そして再起に共感の声多数!!　オムニバス視点で綴る、自分を取り戻し、明日を生きるためのお仕事小説。

あの日のチョコレート～スキートな５つの欠片～

著者名：　江国香織
出版社：　白泉社

銀紙に包まれた茶色く甘い板チョコレート。それはあの日の優しい気持ち、苦い想い出、救われた気持ちなど、さまざまな忘れられない記憶を呼び覚ます甘い欠片。「明治ミルクチョコレート」の誕生１００周年を記念したアンソロジー本。

それ〝も〟犯罪かもしれない図鑑

著者名：　小島洋祐
出版社：　金の星社

待望の第二弾が登場！　子どものちょっとした行動が、じつは法を犯しているかもしれない。冒険心で、あるいはいたずら心でやってしまいそうな行動から、明らかなNG行動まで、日常には違法行為がまだまだたくさん潜んでいた！

探偵小石は戻らない

著者名：　森バジル
出版社：　小学館

名探偵のように事件を解決する日を夢見る、ミステリオタクの探偵・小石。色恋案件を病的に得意とする小石は、調査員の蓮杖と様々な調査に取り組んできた。しかしその日、蓮杖が目撃したのは探偵ではなく、犯人としての小石の姿で…。新たな驚愕体験ミステリ。

小説アニメ葬送のフリーレン４

著者名：　時海結以
出版社：　小学館

魂の眠る地を目指すフリーレン一行。北の地へ旅する許可を得るために、フリーレンとフェルンは一級魔法使い選抜試験を受けることに。魔法都市オイサーストの試験会場で出会ったのは、一筋縄ではいかない魔法使いたち。第一次試験は三人一組のパーティー戦で、隕鉄鳥という小鳥を捕まえる課題が出されますが…。それぞれに事情を抱える魔法使いたちの信念と覚悟、そして運が試される、一級魔法使い選抜試験スタート―。読みはじめたら止まらない、後日譚ファンタジーの第４巻！中学年から。

緑色のタイトル名は児童書です　　＊　内容紹介は「 BOOK」データベース より

11月 新着図書 No.2

それを読むたび思い出す

著者名：　三宅香帆
出版社：　早川書房

小さい頃、「本で見かけた言葉」に抱いた鮮烈な憧れ。閉塞感とブックオフとインターネットに彩られた地元・高知での日々、大学時代に京都という不思議な場所がくれた「ぬるい肯定感」。風景も人も変わっていくなかで、好きなものを手放さないこと、本や漫画だけが変わらずそばにいてくれたこと……いつも、読むと、思い出す。自分の大切なことを。新世代のスターとなった文芸評論家、唯一の自伝的エッセイ！

中華街の子どもたち　横浜ネイバーズ６

著者名：　岩井圭也
出版社：　角川春樹事務所

ロンこと小柳龍一は悩んでいた。幼馴染みで自分と同じように、働く気も夢もなかったマツは料理人を目ざし、ヒナは大学生ながら起業に進もうとしているのに、自分は何も動いていない…そんな己を変えるため、ロンは裏社会にいると思われる母・南条不二子の捜索を決意する。だがそれは、これまでのトラブル解決とは桁が違う危険領域に踏み込んでいくことを意味していた…。現代を描き続ける大人気シリーズ、感動の第一シーズン完結！

宇野千代一日一話

著者名：　宇野千代
出版社：　PHP研究所

本書は、「一歩踏み出せば凡（すべ）てが愉しい」「逃げてはいけない、追いかけなさい」「人生はいつだって、今が最高の時なのです」など、幸福人生の天才が遺した珠玉の言葉集です。4度の離婚、2度の破産、3度の大病……。波乱万丈の人生を歩む中でも、常に前を向いて生きてきた宇野千代氏の言葉には、読むだけで気持ちが元気になるエネルギーがたくさん詰まっています。　　生涯を通して辿り着いた「幸福に生きる知恵」を、この1冊に！

破れ星、燃えた

著者名：　倉本聡
出版社：　幻冬舎

ニッポン放送から独立した「倉本聰」は、過剰なエネルギーでテレビ界・映画界に乗り込んだ。大河ドラマ「勝海舟」に端を発したＮＨＫとのトラブル、石原裕次郎さんからの最後の依頼、田中絹代さんの切ない葬儀、高倉健さんと弾丸ニューヨーク旅行計画、富良野移住と「北の国から」の誕生、先に逝ってしまった盟友たち……。痛快無比な自伝。

志記１　遠い夜明け

著者名：　高田郁
出版社：　角川春樹事務所

文化元年、ふたりの女児が産声を上げる。ひとりは蔵源美津。今ひとりは高越暁。長じて、美津は医学、暁は鍛刀を志すことになる。女には困難とされる道を選んだふたりの人生が、思いがけず江戸で交錯する。志を胸に人生を切り拓いていく者たちの群像劇。

志記2　瑠璃と玻璃

著者名：　高田郁
出版社：　角川春樹事務所

文政５年、医を志す蔵源美津と、刀匠を目指して修業中の高越暁は、江戸で初めて出会う。同年同日に生まれ、女には困難な道を選ぶ２人だが、気性も考え方もまるで違う。海の向こうから、前代未聞の疫病が入って来た、との知らせが届くのだが…。

銀座「四宝堂」文房具店7

著者名：　上田健次
出版社：　小学館

美しいレンガ造りの建屋が目をひく老舗文房具店の「四宝堂」。そんな店を１人で切り盛りするのは、時代遅れと言われかねないほどの細やかな接客が評判の宝田硯。硯のもとには今日も様々なお客が訪れて…。シリーズ第７弾。

予知夢　ガリレオ２

著者名：　東野圭吾
出版社：　文藝春秋

深夜、１６歳の少女の部屋に男が侵入し、気がついた母親が猟銃を発砲した。とりおさえられた男は、１７年前に少女と結ばれる夢を見たと主張。その証拠は、男が小学四年生の時に書いた作文。果たして偶然か、妄想か…。常識ではありえない事件を、天才物理学者・湯川が解明する、人気連作ミステリー第二弾。

緑色のタイトル名は児童書です

＊ 内容紹介は「 BOOK」データベース より